

中津市民病院 広報誌

# ゆりかご



Vol.30

令和2年2月  
発行



## 目次

- 第4回中津市民病院市民公開講座……………P2
- 新任医師紹介……………P3
- トピックス……………P4～ P11
  - 1. 小児科講演会……………P4
  - 2. 小児科在宅医療支援……………P4
  - 3. 第33回健康教室……………P5
  - 4. 新こぼと保育所運動会……………P6
  - 5. 小児科病棟クリスマス会……………P6
  - 6. がん関連情報コーナー関連講座……………P7
  - 7. 日本医療機能評価機構審査……………P8
  - 8. 病院忘年会……………P8
  - 9. 第5回地域連携会……………P9
  - 10. 特別コラム……………P10～11
  - 11. 研修報告会……………P11
- 外来診療担当医表……………P12

## 第4回中津市民病院市民公開講座

令和元年11月17日(日)、第4回中津市民病院市民公開講座を市民病院多目的ホールにて開催し、看護学生や介護職の方、一般市民の方、約100名が聴講されました。

今回の講座は、「がんとの上手な付き合い方」をメインテーマに、第一部を「がんとトータルケア」と題し、当院の折田博之副院長が手術と薬物療法による積極的治療について、福山康朗がんセンター長が緩和ケアについて講演し、実際のがんを経験された方(以下「サバイバー」)の経験に裏打ちされたお話がありました。

第二部では、パネリストとして、深野昌宏医師(中津市胃腸病院院長)、山野英子氏(なかつ訪問看護ステーション管理者)、サバイバーの山本克枝氏をお招きし、当院の福山がんセンター長、木村美智子緩和ケアセンター看護師長を加えた5名によるパネルディスカッションを行いました。各パネリストから、緩和ケアの実際、在宅治療のメリットなど様々なお話がありました。また、特別発言として、末廣朋耒中津市医師会会長がご自身の体験など貴重なお話をしていただきました。

聴講者からは、「がんの基礎から話があり、手術、薬物療法、訪問看護、緩和ケアまですべて包括的に学べてよかった。」、「がんを経験された方の話が聴けてよかった。」、「中津市民病院にも緩和ケアの場ができてよかった。」といった感想を頂きました。

この市民公開講座は毎回テーマを変え、年に一度開催しているものです。次回の講座も市民の皆さんに有意義な情報をお届けいたしますのでお楽しみに!



## 新任医師紹介

今年度から当院に勤務する医師を紹介します。

(令和元年10月1日～)



よろしく  
お願いします!



神経内科

**太田 浄文 Dr.** (おおた きよぶみ)

10月から赴任しました神経内科の太田浄文と申します。中津市出身で、東京医科歯科大学に入学し関連病院で勤務したのちに帰郷してきました。中津市民病院の神経内科はこれまで週1回の外来のみでしたが10月からは週に3回の外来に加えて入院での検査、治療も可能になります。しびれ、ふらつき、物忘れなどの症状がある方は紹介状なしでも初診を受け付けています。どうぞよろしくお願ひいたします。



## ト ピ ッ ク ス 小児科講演会

当院では小児科の講演会を1-2か月毎に開催しています。令和元年9月13日(金)は「子育てのウソ!ホント!」を開催しました。

各地から医療・保育・保健・教育関係者と一般の方が集まり、35問のクイズで楽しみ、学びました。



## 小児在宅医療支援の県補助事業

当院は3年前から大分県から小児在宅医療を推進するための補助事業を委託しており、当院を事務局として県内の小児科医とともに、定期的な大分市での講習会、連絡会、支援学校巡回、ニーズや資源調査などを実施していました。

写真は令和元年11月10日(日)、大分県立病院で開催した保護者を対象とした講習会です。

次年度からは大分県医師会がこの活動を引き継いでいただくこととなり、この活動の創成期に当院が果たした役割は終了します。

在宅医療を望む子どもと保護者を支える大分県となることを期待しています。



## 第33回中津市民病院健康教室

令和元年12月8日(日)13時30分より中津市民病院多目的ホールにおいて、当院副院長(小児科) 是松聖悟. 医師による「子どもの急病。家庭での対応と予防が命を守る。」と題した健康教室を開催しました。中津市内をはじめ近隣市町の市民や医療福祉関係者、保育教育関係者など、多くのみなさまの参加を頂きました。

講演では家庭での予防により、病気を悪化させない・病気にならない予防の説明がありました。発熱や嘔吐・下痢等症状に応じた対応方法・フローチャートの説明や、予防接種によって重篤な疾患・症状が軽減されるとの説明があり、参加者からは「予防接種の大切さを知れました」「フローチャートがあつて、とてもわかりやすかった」との意見がありました。質疑応答では講演内容を深めたり、日々の対応で疑問に思われている事など尋ねられたり、多数のご質問を頂きました。

当日は中津ケーブルテレビの取材があり、後日「中津ふるさとTV」で放送予定となっています。また、過去の健康教室の内容を収録した「中津ふるさとTV」DVDは小幡記念図書館で貸し出しをしております、YouTubeでは動画配信も行なっております。

是非ご覧ください。



## 新こばと保育所運動会

令和元年10月19日(土)、院内保育所の新こばと保育所で、運動会が行われました。今年は新しくできた病院内多目的ホールを利用しての開催となりました。今年のテーマは”げんきいっぱいいうんどうかい”でした。普段の練習の成果をご家族に発表しました。

保護者のみなさん、ご声援、競技のご参加ありがとうございました。また、保育士の先生方、毎日の練習や運動会の準備をありがとうございました。



## 小児科病棟クリスマス会

令和元年12月19日(木)3階東病棟プレイルームにてクリスマス会が開催されました。

前日までプログラムや歌の歌詞など子ども達が手作りしてクリスマス会当日を楽しみにしていました。

手遊びや絵本の読み聞かせ、エプロンシアター等、車椅子で参加した子どももいてとても楽しそうでした。優しいサンタさんの登場にみんな大喜びでした。サンタさんからのプレゼントに泣いてしまったり、ちょっと照れたりする子など様々でした。

写真撮影の後、サンタさんに抱いてもらって写真を撮ったりしてとても和気あいあいでした。

その後、サンタさんは参加できなかった子ども達の部屋を訪れ、プレゼントとカードを手渡ししました。突然のサンタさんの登場にビックリしてしまった子どもがいたり、お母さんの歓声が大きく聞こえたり、サンタさんの2度目の訪問をお願いしたり、とても楽しい1日となりました。



## がん関連情報コーナー関連講座

当院は地域がん診療連携拠点病院として、地域のみなさまの健康的な生活の維持を目的とし、「がんの予防、早期発見、治療」に関する正しい知識やがん相談窓口の周知のため、豊後高田市立図書館のご協力のもと、図書館内にはがん関連の冊子や書籍などを集めた特設コーナーを平成28年度から開設頂いています。

令和元年11月13日(水)13時30分より豊後高田市立図書館集会室において、当院消化器内科医長 宮ヶ原典医師による「膵がんのお話」と題した講演会を行ない、豊後高田市や宇佐市にお住まいの方々のご参加を頂きました。

講演では、膵臓のはたらき、膵がんについて、膵がんのリスク因子、症状や検査方法、治療方法について写真やイラストを使って分かりやすく説明がありました。みなさま聞きながら熱心に聞かれており、質疑応答では多数の質問が寄せられました。講演後も医師に積極的に尋ねられる姿もあり、みなさまの健康への意識の高さを感じました。

がんに関する豊後高田市図書館での講演会や相談会は4回目を迎え、今後も年1回程定期開催予定です。

その他、中津市立小幡記念図書館、宇佐市民図書館にも同様のがん健康情報コーナーを開設していただいております。是非ご活用ください。



## 日本医療機能評価機構審査

令和元年10月3日(木)、4日(金)、日本医療機能評価機構による「病院機能評価(3rdG: Ver.2.0)」の更新審査を受けました。

今回の審査では、前回(平成27年1月)の審査で課題として挙げられていた点も全職員が一丸となって改善し、自信をもって受審しました。

審査員の皆さんからは、当院の取り組み方に一定の評価をいただき、令和2年1月に認定更新という結果をいただきました。

今後も、全職員一丸となって取り組み、患者さんをはじめ多くの関係者により良い病院運営を行ってまいります。



## 病院忘年会

去る令和元年12月13日(金)に中津市民病院の大忘年会を開催しました。総勢160名以上が参加し、お互いの1年間をねぎらう大変賑やかな忘年会となりました。当院では毎年、病院の運営に貢献した個人・団体が表彰されます。今回は地域の病院や医療施設との連携を担う地域医療連携室・相談支援センターと、耐性菌の蔓延防止に尽力している抗菌薬適正使用支援チーム(AST)が表彰されました。続く余興の部では、各団体の趣向を凝らした出し物に対して、会場全体から拍手喝采や大歓声が聞かれました。新しい年への英気を養う、とても楽しい会となり、このチームワークを今後の病院業務に活かしていきたいと思いました。





## 第5回地域連携会

令和元年12月17日(火)、中津市介護支援専門員協議会との共催で、地域連携会を開催しました。市内の介護支援事業所や訪問看護ステーション、医療機関と、当院の退院支援担当者合わせて41名の参加がありました。

今回の連携会では、中津市民病院 相談支援センター 山本MSWより「退院後の食事に関するアンケートを通じて」の発表と、中津市民病院 栄養科 小犬丸管理栄養士より「栄養ケアステーションの紹介」がありました。

その後「退院後の食事支援について」というテーマでグループディスカッションを行いました。グループディスカッションでは、「退院後、在宅での食事制限がうまくいかない事が多い。どこで折り合いをつけるかが課題」や「各専門職の方が苦慮されている事がよく分かった。統一された規格がなく評価軸の必要性を感じた」といった、活発な意見交換が行われました。

参加職種が多岐に渡ったことで、職種ごとの立場からの意見や考えを聞くことで知識を深める事が出来た連携会となりました。





## せーご先生特別コラム

### 「子どもを守るために、大人がしなくてはならないこととは？」

中津市立中津市民病院副院長、大分大学客員教授 是松聖悟

私は2008年に大分大学医学部地域医療・小児科分野の教授を拝命した。大分市、別府市、中津市以外の乳幼児人口の多くない地域の小児医療支援を任されたのである。豊後高田市、国東市、杵築市、津久見市、佐伯市、豊後大野市、竹田市、日田市、由布市、九重町を定期的に巡回し、同市町の医療・保健・福祉・教育・保育関係者とともに、この問いの答えになるであろう活動をしてきた。この10年、私を運んでくれた愛車の走行距離は28万km.となっている。

子どもの感染症の9割は病院にかからなくても治るウイルス疾患で残り1割が抗菌薬の必要な細菌感染症である。しかし、予防接種後進国と言われたわが国では予防接種率が低く、そのために抗菌薬を多く使わざるを得ない状況になり、抗菌薬の耐性化が進んだ。どんなに早く病院にかかって投薬を受けても、薬が効かなくなっていたのである。病院にかかりやすい環境だけでは子どもの命を救うことに限界があることを知り、予防接種を推進した。私たちの活動に賛同してくれた市町村は任意予防接種の公費助成を次々に始めてくれた。そのような市では感染症が減ったのみならず、安心して子育てできる環境であることが知れ渡った結果か？合計特殊出生率も上昇した。

また、近年増えている発達障害やその境界域にある子どもは苦手分野が目立つが、同時に他人には持っていない素晴らしい能力を持っている。療育機関での訓練や病院での治療も必要かもしれないが、それだけでは不十分で、家庭で、地域で、集団生活の場で、その子への分かりやすい、上手な関わりが求められる。それができれば、特性を持った子どもだけでなく、すべての子どもが地域社会の中で得意分野を伸ばしながら生活ができることも啓発した。その結果、発達障害児支援に力を注いだ市では、不登校児童が減った。

同じく増えている食物アレルギー。その予防には少しずつ食べていくことである。しかし、食物アレルギーの発症を恐れて、離乳食の時期に卵などを食べさせることをためらう保護者は少なくない。それは逆に食物アレルギーの発症を惹起してしまうことを啓発してきた。また食物アレルギーを発症しても、症状がでない量や加工品を食べることによって少しずつ克服していくことを伝えてきた。その結果、大分県では学校、幼稚園、保育所での給食提供体制やアナフィラキシー時対応の統一手引きを作成することができた。



2017年に縁あって中津市に異動したが、中津市の予防接種率は県内で下位に位置していた。加えて、大分県1位の喫煙率のため、受動喫煙で子どもの喘息や反復する気管支炎が多い。受動喫煙が減ればこのような子どもは減るはず。また、喘息は予防治療すれば夜間に発作を起こすことはなくなりやがて治るのである。保護者には「夜間の発作にいつでも診てくれる医療機関」を探すのではなく、「夜間に発作を起こさないよう昼間に治療してくれる医療機関」を探すことが望ましいと伝えている。

中津市はまた県内でも生活習慣病が多い市である。生活習慣病の予防は成人になってからでは遅く、胎児期や乳幼児期から始めることが大切であることも伝えている。さらに、気管切開や胃瘻管理をしている子どもも増えている。この子どもが病状を悪化させることなく笑顔で家族と在宅医療を行うことができる地域となるためのお手伝いもしている。

子どもを守るために大人がしなくてはならないことは、病気になってから治すのではなく、病気になるよう「予防」することと信じている。



## 研 修 報 告 会

講演内容	報告日	講師	
医療薬学フォーラム2019 第27回クリニカルファーマシーシンポジウム	9月12日	主任薬剤師	上ノ段 友里
第21回日本褥瘡学会学術集会	10月24日	看護師	中村 洋子
3学会合同呼吸療法認定士講習会・ 第24回3学会合同呼吸療法認定士認定試験	12月5日	臨床工学技師	高倉 涼 輔 長田 智史
ECHO九州2019 心エコー図 講習会・ 第60回日本臨床細胞学会	12月12日	臨床検査技師	森 知 保 今長 真奈 安部 愛望

## 外来診療担当医表

※非常勤医師については、記載していません。

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
循環器内科		小路 高史	久米 治 高橋 正起	富来 公一	小路 高史 久米 治	富来 公一
消化器内科		大森 薫 横田 昌樹	宮ヶ原 典 大森 薫	梅野 成大	梅野 成大 宮ヶ原 典	横田 昌樹 廣島 康子
糖尿病内科			岡田 淳子	岡田 淳子	岡田 淳子	
血液内科		池田 元彦	池田 元彦	池田 元彦		池田 元彦
神経内科		太田 浄文		太田 浄文		太田 浄文
腎臓内科			竹野 貴志	古寺 紀博	竹野 貴志	竹野 貴志
小児科		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
小児外科						担当医
脳神経外科		古賀 広道 小柳 侑也	古賀 広道 (午後手術)	古賀 広道 小柳 侑也	手術日	古賀 広道 小柳 侑也
消化器外科		甲斐成一郎 一万田充洋	折田 博之 永田 茂行	折田 博之 甲斐成一郎 一万田充洋	折田 博之 永田 茂行	甲斐成一郎
呼吸器外科			福山 康朗 倉光絵梨奈			福山 康朗 倉光絵梨奈
乳腺外科		永松 敏子		永松 敏子	永松 敏子	
心臓血管外科		木村 龍範 嶋岡 徹	手術日	木村 龍範 嶋岡 徹	手術日 木村 龍範 (再診のみ)	木村 龍範 嶋岡 徹
泌尿器科		岩淵 直人 元 貴彦	岩淵 直人 元 貴彦	手術日	岩淵 直人 元 貴彦	岩淵 直人 元 貴彦 (午後手術)
産婦人科		松本 治伸 矢野 光剛 佐藤 美帆	松本 治伸 矢野 光剛 青柳 陽子	手術日	矢野 光剛 青柳 陽子 佐藤 美帆	松本 治伸 青柳 陽子 佐藤 美帆
放射線科		日高 啓 境 昌宏 菊池由生子	日高 啓 境 昌宏 菊池由生子	日高 啓 境 昌宏 菊池由生子	日高 啓 境 昌宏 菊池由生子	日高 啓 境 昌宏 菊池由生子
歯科口腔外科		高橋 喜浩	高橋 喜浩 (新患のみ)	高橋 喜浩	高橋 喜浩 (再診のみ)	高橋 喜浩
緩和ケア外来(予約のみ)		武末 文男			武末 文男	

※整形外科・耳鼻いんこう科はしばらく休診します。

### 外来診療案内

受付時間:午前8:30~午前11:00

休診日:土曜日・日曜日・祝日

年末年始(12月29日~1月3日)

※救急の患者さんやご予約の患者さんは、上記時間外でも対応させていただきます。

### 表紙...第4回中津市民病院市民公開講座

詳細については、2ページにて紹介しております。  
ご覧下さい。

### 面会時間

平日:午後1時~午後7時

土・日・祝日:午前11時~午後7時

面会時のお願い

- 当院では、患者さんご面会の皆様のために面会室を用意しています。お気軽にご利用ください。
- 入院している患者さんの安静や診療の妨げにならないよう、決められた時間内をお願いします。
- 大勢の面会は、患者さんの安静の妨げになりますのでご遠慮ください。また、お子様は感染防止のうえからも特別な場合を除いてご遠慮ください。
- 病状によっては面会をお断りする場合があります。一日も早く回復していただくためご協力ください。